

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

# 忘却を乗り越える



## ～足尾鉍毒問題とフクシマ～

日本の公害の原点であり、教科書の中でも解決済みの問題として語られる足尾銅山鉍毒事件。その足尾銅山から、現在も鉍毒水が流れ続けています。フクシマをなかったことにして原発再稼働を進め、東京五輪を「復興五輪」と呼ぶ私たちの社会は、なぜ事実を教訓として生かせないのでしょうか。足尾鉍毒問題の過去と現在を学び、私たちの暮らしと社会のありようを見つめなおしましょう。

講師：菅井 益郎さん（渡良瀬川研究会代表）

日時：2019年 **10月26**日（土）16:00～**27**日（日）12:00

場所：関西セミナーハウス

参加費：10,500円（1泊夕朝食込み）◎2日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。（1,150円）

- \* 開発教育セミナーの趣旨より、宿泊は原則的に2～3名の相部屋となっておりますが、部屋割りについてご要望のある方はお問合せください。
- \* Webサイト（申込フォーム）、Fax（裏面書式）、電話、メール等でお申込みください。
- \* 申込締切：10月20日（日）、または定員30名に達し次第。（締切日以降は、電話でお問い合わせください。）
- \* 部分参加については事務局にお問合せ下さい。
- \* 前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

菅井 益郎 すがい ますろう

1946年新潟県生まれ。國學院大學名誉教授。'69年早稲田大学第一政治経済学部卒、同年より柏崎刈羽原発反対運動に参加。'76年一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了。'76年東京大学社会科学研究所助手。'80年國學院大學経済学部経済学科専任講師。同助教授を経て、'89年より國學院大學経済学部教授。この間'87年米ペンシルベニア大学ウォートン・スクール客員研究員。'90年市民エネルギー研究所研究員。

主な著作に『通史足尾鉍毒事件 1877-1984』（新曜社）『原発廃炉に向けて：福島原発同時多発事故の原因と影響を総合的に考える』（日本評論社）『技術と産業構造』（東京大学出版会・英語版あり）などがある（著作はいずれも共著）。

## ◎ セミナー当日のタイムテーブル

- 【1日目】 15:30 ~ 受付  
 16:00 ~ 【第1セッション】 足尾銅山鉱毒事件とは  
 ・ビンゴでインタビュー  
 ・ミニワーク「足尾鉱毒事件のはじまり」  
 ・菅井さんのお話とはなしあい  
 18:00 ~ 夕食  
 19:00 ~ 【第2セッション】 足尾鉱毒問題の今  
 ・ミニワーク：フォトランゲージ  
 ・菅井さんのお話とはなしあい  
 21:00 ~ 交流会
- 【2日目】 8:00 ~ 朝食  
 9:00 ~ 【第3セッション】 足尾鉱毒問題とフクシマ  
 ・ミニワーク：フォトランゲージ  
 ・菅井さんのお話とはなしあい  
 12:00 終了予定

セミナー期間中、  
開発教育関連書籍  
の販売があります。



### ◇ 2019年度 開発教育セミナー

第5回 11月 30日(土)～12月 1日(日) **フィールドワークあり<八瀬・岩倉エリア>**

「在日コリアンの歴史から学び、未来を考える」

講師 水野 直樹さん (元京都大学教授、同志社大学非常勤講師)

第6回 12月14日(土)～15日(日)

「“その日暮らし”の経済から考える私たちの社会～香港の地下経済と日本の未来～」

講師 小川 さやかさん (立命館大学大学院先端総合学術研究科)

\* 各プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト (<http://www.academy-kansai.org>) にも随時掲載いたします。

### <主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)

所長代行 榎本 栄次

担当 都木 (とき)



[2019年度 第4回 開発教育セミナー申込書]

\* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ) 名 前	(男・女)	所 属
住 所 〒		
電 話 ( )	-	FAX ( ) -
電子メール:		@
通信欄		